

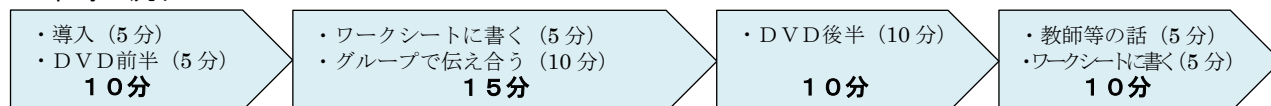
SOSの出し方に関する教育 学習指導案（初等編）

1 題材 「自分を大切にしよう ～不安やなやみへの対処～」

2 ねらい

自分がかげがえのない大切な存在であることに気付くとともに、不安やなやみへの様々な対処方法を理解し、現在起きている危機的状況、又は今後起こり得る危機的状況に対応するための援助希求行動について考えることができる。

3 本時の流れ



4 本時の展開

	学習活動・内容	指導上の留意点等
導 入 (5)	<p>1 本時の題材を知る。</p> <p>「自分を大切にしよう ～不安やなやみへの対処～」</p>	<p><input type="checkbox"/>強い不安を抱えているなど配慮を必要とする児童がいる場合、授業中につらくなった時の対処方法を事前に伝えておく。</p> <p><input type="checkbox"/>「自殺」や「自殺予防」など自殺に関する用語は、過敏に反応する児童がいることも予想されることから使用しない。</p> <p><input type="checkbox"/>教師は、本時の題材を板書し、学習の流れを説明する。</p>
展 開 (30)	<p>2 DVD（前半）を視聴する。</p> <p>(1) 一人一人が大切な存在であることに気付く。</p> <p>(2) 不安やなやみの概要について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不安やなやみには、様々な原因があること。 ・思春期には、体の変化にとまどったり、友達との関係が強まったりして、不安やなやみをもつことが多くなること。 ・生活の中で不安やなやみをもつことは、誰もが経験する自然なこと。 ・不安やなやみが大き過ぎたり、長く続いたりすると、心や体に影響が出ることがあること。 <p>3 つらい気持ちになった時に、どのような対処をしているか伝え合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>発問1 自分がつらい気持ちになった時、それを軽くするために、どのようなことをしていますか。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>発問2 友達がつらそうにしている時、それを軽くしてあげるために、どのようなことをしていますか。</p> </div>	<p><input type="checkbox"/>大型テレビやプロジェクター等を活用して、DVD（前半）を上映する。</p> <p><input type="checkbox"/>授業は、子供にとって最も身近な存在である学級担任が主体となって実施することを基本とし、同じ学年を担当する他の教員、養護教諭、スクールカウンセラー、保健師等の協力を得て、ティーム・ティーチングで行うことが望ましい。</p> <p><input type="checkbox"/>DVD視聴中に児童の様子を観察することで、児童の心の状態を見取るようにする。</p> <p><input type="checkbox"/>ワークシートを配布する。</p> <p><input type="checkbox"/>教師が発問と活動の指示をする。</p>

<p>展 開 (30)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がつらい気持ちになった時、友達がつらそうにしている時、どのように対処しているか想起し、それぞれワークシートに書く。 ・グループの中で、それぞれの対処方法を伝え合う。 ・友達の対処方法をワークシートに書き、対処方法の選択の幅を広げる。 <p>4 DVD（後半）を視聴する。</p> <p>(1) 危機的状況（強い不安や大きな悩み）に対応するための援助希求行動の在り方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つらい気持ちになった時は、身近にいる信頼できる大人に話すとよいことを知る。 ・分かってくれる大人に出会うため、少なくとも3人の大人に話してみるとよいことを知る。 ・相談機関に相談する方法を知る。 ・友達がつらそうにしている時に、どのような言葉をかけたらいいか考える。 ・自分がつらい気持ちになった時、誰に、どのようにSOSを出していけばよいか考える。 <p>(2) ワカバ「あかり」のビデオを視聴する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>何を書いてよいか分からない児童がいる場合は、日頃何気なくやっているようなことも対処方法になり得ることを知らせる。 <input type="checkbox"/>不安を抱えている児童は、感情が込み上げてきて書けなくなることも予想される。見守る、声をかけるなど、児童に応じた支援を行う。 <input type="checkbox"/>伝え合うことで、自分以外にも、つらい気持ちになっている友達がいることに気付く。学級全体への発表は、時間が超過することが予想されるため、グループ内で共有ができればよい。 <input type="checkbox"/>友達の対処方法を、ワークシートの「いいね」の欄に書き、友達の様々な対処方法を共感的に受け止められるようにする。 <p><input type="checkbox"/>DVD（後半）を上映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>心が苦しい時や、体の調子がおかしいという時は、一人で悩まないでほしいこと、助けを求めることは恥ずかしいことではなく、自分を大切にしている行動であること、信頼できる大人は必ずいること、身近にいる信頼できる大人に話してほしいことなどを、DVDの視聴を通して伝える。 <input type="checkbox"/>DVDの中で、友達がつらそうにしている場面を示し、自分ならば、どのような言葉をかけるか考えられるようにする。
<p>ま と め (10)</p>	<p>5 教師等の話を聞く。</p> <p>6 本時を振り返り、学習の感想をワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、自分がつらい気持ちになった時や友達がつらそうにしている時に、どのように対処していけばよいかなど、自分の考えを整理し、ワークシートに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>相談機関の連絡先が分かる資料を配布する。 <input type="checkbox"/>授業に養護教諭やスクールカウンセラー等が参加する場合は、相談機関の活用方法等について話してもらう。 <input type="checkbox"/>授業に保健師等が参加する場合は、自らが相談相手になり得ることを直接、伝えてもらう。 <input type="checkbox"/>学級担任からは、児童の相談を真剣に受け止めるので、苦しい時は一人で悩まずに話してほしいなどのメッセージを伝える。資料編（CD）にある「相談する時、受け止める時等の言葉例」を参考にするとよい。 <input type="checkbox"/>書く活動をとおして、児童一人一人が自分の考えを整理できるようにする。 <input type="checkbox"/>ワークシートに書かれた児童の思いを、学校全体で共有し、今後の児童の心のケアに役立てる。